

雑誌の中吊り広告を 見ていると、 世界が終わってしまいそう。 大丈夫かな？

世界の金融問題、これからどうなる？
三宅先生、教えてください。

金融とはお金の流れの話なんですね。その流れが悪くなりすぎて、昨年秋の金融危機が起こりました。アメリカのサブプライム問題をきっかけに、世界中の金融機関は巨額の損失を出した。すると金融機関はお金をなかなか貸さなくなる。企業の活動は弱まる。人はあまりモノを買わなくなる。というような流れで、日本に住む私たちの生活にも影響が及んできたわけです。つまり、お金で見ると世界はつながっている。その関係性を学ぶのが「国際金融論」という学問です。いま金融は激変の真っ只中。でもピンチはある意味、チャンスです。これからの日本を担う学生たちには、いまが好機とも話しています。100年に1度ともいわれるこの出来事、みなさんも前向きにとらえてみてはいかがでしょうか。1月の授業は三宅輝幸先生の「国際金融論」からお送りしました。



ひとりを光らせる
和光大学

※現代人間学部 ※表現学部 ※経済経営学部